

入 選

海洋汚染について

開智望中等教育学校

一年 古 谷 瑠 士

現在、世界では海洋汚染は深刻な問題となっています。日本でも海洋汚染は大きな問題となつていますが、何が原因となり生じているのでしょうか。

海洋汚染の主な原因の大半は海洋ごみによる汚染だそうです。環境省によると、海洋ごみは年々増え続けており、このまま何の対策も行わなければ二〇五〇年には海洋に住む生物よりもごみの方が多くなると言われています。海洋ごみの中でも特に深刻なのは海洋プラスチックごみです。生物や環境に多大な影響を与えるものもあり、そのほとんどは、人の日常の暮らしから発生しているものばかりです。海洋汚染の影響は様々なところに現れています。その中でも特に目立つのは海洋生物やその周辺で生きる

生物の減少です。海洋生物の多くが海洋汚染により住みづらい環境ができてしまい、ごみや油、化学物質を取り込むことで大量に死んでしまう生物も少なくありません。また、これまで産卵などをしていた場所が海洋汚染でできなくなりその数を減らす原因にもなっています。この状態が続くと、漁業にも影響が現れます。生態系のバランスが崩れることにより、これまで獲ってきた魚介類の数が減ってしまいます。そうなると私たちが食事の中で取り入れる魚介類が減るばかりか、漁業者を減らすことになるのです。漁業者は海浜清掃活動や植木など、環境保全も行っていることから、漁業者数が減ると海洋環境はさらに悪化する可能性があります。海洋汚染によつて負のスパイラルが起こり、余計に汚染を進めてしまうことにもなりかねません。それだけ海洋汚染は深刻な問題になっているのです。

海洋汚染を防ぐためには国や企業の取り組みや努力だけでなく、私たちができることを行つていかなければなりません。先述しましたが、海洋汚染の主たる原因は海洋ごみであり、その海洋ごみの多くは

私たちの生活から出ていくのです。そうなると私たちが日ごろから気をつけ、取り組みが必要ですが、その私たちができる取り組みを三つ考えました。一つ目はエコラベルが付いている商品を買うことです。エコラベルは適切な漁業管理と水産資源の利用ができており、その中でも持続可能で環境に配慮した漁獲あるいは養殖された水産物であることを表したマークです。つまり環境に配慮しつつ、私たちに届けられた水産物であることを示すマークとなります。これらが貼ってある水産物を購入することで、適切な方法で漁業を行う人々が潤うことになり、より多くの漁業者がエコラベルの認定を受けた適切な漁業を行うようになります。これにより、海洋環境を守る手助けができるのです。二つ目は海岸や河川のごみ拾いをする事です。海岸や河川には漂着ごみや不法投棄されたごみがたくさんあります。これらを放置すれば、海洋に流れ出し、海洋ごみとして海洋汚染を引き起こします。そうなる前にごみを拾うことで、流出を防ぐことができます。一人でやることもできますが、その量はあまりにも膨大で

あるためボランティアなど清掃活動に参加するとよいと思います。そのような活動に参加し、また周りに広めていくことで清掃活動をする人が増えれば、自ずと海岸や河川のごみを減らすことも可能でしょう。三つ目はごみを出さないエコ活動を行うことです。そもそもごみを出さないということも大切です。特にプラスチックごみは大量に出ており、海洋汚染の原因となっています。これらを防ぐため例えばマイバッグやマイボトル、マイ箸を使用したりするなど、エコ活動を行うことでごみを減らすことができます。

海洋汚染は海洋生物にも私たちにも悪影響を及ぼしています。みなさんも、海洋汚染について考えてみてください。